

ASAOKURA

小中高生のための

税友あさくら

甘木朝倉地区税務連絡協議会

第59号

令和元年
12月

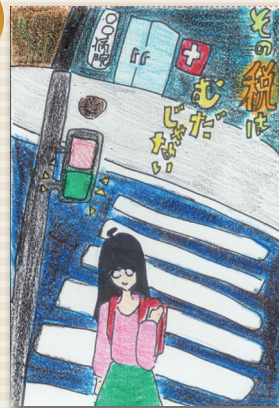


小学生の税に関する
絵はがきコンクール

第12回 優秀作品 最優秀賞



立石小学校 6年
八尋 菜緒 さん



蜷城小学校 6年
西岡 舞依 さん



福田小学校 6年
中 心愛 さん

優 秀 賞



甘木小学校 6年
熊谷 りせさん



朝倉東小学校 6年
水田 柔良さん



福田小学校 6年
後藤 和佳さん



立石小学校 6年
原田 架月さん



朝倉東小学校 6年
佐藤 澄空さん



朝倉東小学校 6年
林 美沙希さん

税を
考える
週間
11月
11日(月)~17日(日)

※この作品は平成31年1月の受賞作品です。

高校生の優秀作文

★甘木税務署長賞

「東京五輪とのつながり」

福岡県立 朝倉東高等学校
一年 手寫 まり

★福岡県久留米県税事務所長賞

「税金なんてなくなれば」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 江上 綺香

「昔の私へ」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 田中 望愛

★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

「税金に対するイメージ」

福岡県立 朝倉高等学校
一年 都合 彩菜

★朝倉市長賞

「税の学習で考えた事。」

福岡県立 朝倉東高等学校
一年 上野 菜桜

★公益社団法人 甘木朝倉法人会会長賞

「税の大切さ」

福岡県立 朝倉光陽高等学校
一年 大里 健斗

中学生の優秀作文

★甘木税務署長賞

「日本をつくる税金」

朝倉市立 十文字中学校
三年 橋本 羽音

「税別五五〇円から学んだこと」

朝倉市立 南陵中学校
三年 坂田 敦史

★福岡県久留米県税事務所長賞

「暮らしと税金」

朝倉市立 十文字中学校
三年 永野由美香

★甘木税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

「税金が日々の暮らしに」

朝倉市立 南陵中学校
三年 森田 朱莉

「支えられている私たち」

朝倉市立 十文字中学校
三年 田中 愛梨

★朝倉市長賞

「税金は暮らしをよりよくする第二步」

朝倉市立 南陵中学校
三年 早川 心菜

★筑前町長賞

「税金は人のため?」

筑前町立 夜須中学校
三年 止野摩王斗

★東峰村長賞

「税の大切さ」

東峰村立 東峰中学校
三年 和田隆之介

★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

「生活と笑顔」

朝倉市立 十文字中学校
三年 秋吉 莉衣



* 高校生の作文

甘木税務署管内の高校より、四五四編の応募があり、その中から六編の作品が入選しました。

* 中学生の作文

甘木税務署管内の中学校より、五三九編の応募があり、その中から九編の作品が入選しました。

高校生の優秀作文

★甘木税務署長賞

福岡県立 朝倉東高等学校

一年 手嶋 まり

「東京五輪とのつながり」

これまで税について私は深く考えたことがなかった。税と言っても、私達の身近なものは、欲しい物を買った時に課される消費税ぐらいしか関わりがなかった。しかし、ある日、税に関する授業を受けた時に、私が払っていないくても、親が負担して払っている税が多くあることを知った。それと同時に、税金を払う意義や重要性について考えさせられた。

もっと税について知りたいと税に興味を湧いた私は、来年に開催される東京オリンピックと税金との関わりをインターネットで調べてみた。

そもそも東京オリンピックで使われる税金は、東京都の税金

と国の税金のどちらが使われるだろうか。どちらだろうと悩む人が多いと思うが答えは、その両方が使われる。開催費用は三兆円超えるかもしれないと言われている。オリンピックを成功させたい気持ちは分かるが、増税は嫌だと考える人も多いようである。しかし、日本国内での開催としては二十二年ぶりであり、私はこの日本で開催されることを、誇らしく思っている、とても楽しみな。それに、様々な競技で日本の選手が活躍できるようにするには私達の税金でしかできないのではないか。例えば、競技会場の建設費や整備費など様々である。そして、それを支えることが私達

国民の役目ではないか。他にも税を払うことで提供してもらえるサービスが世の中には多くある。救急車も行政サービスのの一つであり、税金でまかなわれているため搬送車は無料である。ちなみに、救急車が一回出勤するのに必要な費用は、約四万五千円と言われている。利用することで助かる命もあるということ、税金を払い、サービスを提供してもらえらることで、お金よりも大きな価値を税金から得ることができるのだ。たった少しの税金の積み重ねから、大きなサービスを誰もが受けられることは素晴らしい

ことだと思う。

今年の十月からは、消費税が

十パーセントに増税になる。今は、増税をあまり良く思っていない人が多くいるが、そのような人にこそ税の使い道や、重要性について多く学んでほしい。そして、税金を払うことで受けられるサービスは私達の暮らしを豊かにし、これからの未来を支え合うために必要な存在であることを心に留めておきたい。国民一人ひとりの価値観が違うなか、少しでも税についてプラスに考えてくれる人が増えることを私は願う。

この社会あなたの税がいきている



★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉高等学校
一年 江上 綺香

「税なんてなくなれば」

「税なんてなくなれば」

これは多分誰もが言ったことのあることばだと思えます。もちろん、私だって十五年、十六年生きてきた中で何度も口に出したことのある言葉です。でもこの言葉は

「友達なんていなくなれば」というぐらいきつい言葉だということを知らされたのが、中学生の時でした。

税がなくなる日本を想像して作られた映像で見たものは、私が想像していた日本よりもはるかに残酷なものでした。

救急車がなくなり病人を歩いて病院につれていくもの

消防車がなくなり、火事で燃えた家の近隣の人がバケツで水をすくい火をけしてやるもの

ゴミ収集車がなくなりゴミが散乱している街など税金がない

だけでこんなにも残酷な日本になるんだと初めて気づきました。たくさんの税金があるこの日本、自分が今、何の税金を払っているなど考えたことがありませんか。自分自身で払っている人は少ないと思いますが、自分の家族が払っていることは確かだと思います。

消費税が一番身近にあると思います。百円のお店に入っても、今は一〇八円になります。消費税がなければ一〇〇円で収まっていた値段だと思えます。しかし、私達がこの八円を払うか払わないかでこの日本が一変すると考えたら払おうという気持ちになると思えます。

自分のとらえ方だけで気分が変わりますが税のことについてのどのような意識をもち、税に對しての知識を持っていなければ

ば気持ちが変わることがあります。

日本は税があることでどんなに幸せな生活を送っているのでしょうか。

小学校に入学して真新しい教科書があるのに驚きを隠せなかったフィリピンの中学生の話を聞いたことがある。その中学生は、日本語を話すことができないまま日本ですぐすのが嫌だったため、ただ周囲の人と話したいという一心で日本語の勉強を熱心に行っていたという。同じ中学校の人が熱心に勉強している自分に向かって

「なんでそんなに勉強熱心なの。私、勉強嫌い」と言われた時に腹がたったという話だ。

なぜこの時にこの中学生は腹がたったのだろうか。

理由は一つでした。税金の大切さを分かっていないから。

フィリピンの中学校では教科書を使いまわして使用するのに対し、日本は税金のおかげで無償に配られた教科書を自分の教

科書として使用することができているのに、なぜこの有り難みが分からないのか理解できなかったのである。

自分が経験してみないと分からないことではあるが幸せな何の不自由もない生活を送っているからこそ、気づくべきことでもある。税がどれだけ大切なのか、しっかり考えていきたいと思う。



★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉高等学校

一年 田中 望愛

「昔の私へ」

「税金って必要なの。」
ふと、妹にそう聞かれた時のことを思い出した。それは、妹と二人でテレビを見ている時のことだった。たまたま報道番組で増税についてのニュースが流れていたのだ。

「うん、必要だよ。」ただ、その一言を答えるだけで良かった。しかし私は、そう答えることはできなかった。その頃の私は、まだ小学生で、税金についてよく知らなかった。だから、妹に税金が必要かどうか質問された時、すぐに答えることができなかつたのだ。私自身、税金が必要かどうか分からなかつたから。

生になっていたのだった。これが、私の税金について知ることになった最初のきっかけだったかも知れない。
インターネットを使って、税金について調べてみた。

まず初めに税金の種類について。税金には「国税」と「地方税」の二つに分けられること。それらには、それぞれ例として「所得税」や「地方税」が挙げられ、全て合わせると五十種類近く存在していることを知った。

次に、その集められた税金がどのように使われているのかについて。例えば、公共サービスだ。学校や公園、信号やごみ処理施設は税金で賄われている。もし、税金がなければ、公園や信号を整備することができないのはもちろん、存在すらしてい

ないかも知れないのだ。また、救急車を呼んだり、ごみを処理したりする時にも影響があるだろう。万が一、これらが有料になることがあれば、金銭面などが理由で利用しにくくなる人がいるのは確かだろう。

これらを通して私は考えた。私たちが一人ひとりの負担を減らすためにも、税金はなくてはならないものであるのだと。税金がなければ、全ての事柄を自分で対応しなくてはならなくなると。それは、とても面倒なことであると思わないだろうか。
昔、私は税金についての知識

がなかつたから、妹の質問に答えることができなかった。しかし、今の私は違う。あの頃より知識も増えた。税金の必要性も。だから昔の私へ伝えてあげたい。
「税金は必要なんだよ。」と。



★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

福岡県立 朝倉高等学校

一年 都合 彩菜

「税金に対するイメージ」

「税金」という言葉のイメージは、以前の私にとっては、良いものでは無かつた。未成年の私

身近な大人から聞いた所得税など税の話から、あまり良いイメージを持っていなかったのである。しかし、私の税に対するイメージは変わった。そのきっかけ

けとなったのは、九州北部豪雨である。私は二年前の水害で被災した。当時はお金のことを全く考えていなかったが、今改めて考えてみると、税金に救われたのだと分かる。災害が起こった日、孤立していた私たちを警察の方々が助けてくださった。もし税金が無かったら、お金を払って警察を呼ばなければならなかっただろう。また、避難所が無料で利用できたことも、災害の影響で壊れた道を修復してもらえることも、交付金が支給されることも、全て税金があるおかげだと気づいた。それまではあまり良くなかった税金へのイメージを、考え直す良い機会となった。今はまだ消費税以外の税金は納めていない私たちも、将来大人になったら納めていくことになる。困ったときに助けてくれる税金は、私たちが意識しないような当たり前の日常を支えてくれている。そんな税金の存在や仕組みを、日頃から意識して税金を納められるような大人になりたいと思う。

また、日頃から意識するためにも、そして日本で生きていくひとりの国民としても、もっと税金について学んで、国の現状を知るべきだと思った。私自身、まだまだ税金についての知識や理解がまだまだ足りていない。だから、将来自分が子供にも教えることができるようになるためにも、もっと税金について勉強していきたい。

以前まではあまり良くなかった税金のイメージを、私は変えることができた。今度は周りの人のイメージを変えることができるように、私自身がそのきっかけとなれるよう、勉強と発信を続けていけるような人になりたい。



★朝倉市長賞

福岡県立 朝倉東高等学校
一年 上野 菜桜

「税の学習で考えた事。」

私が、「税は身近な物だ。」と感じたのはつい最近学校で行われた税についての学習だった。

私達が暮らしている朝倉市は少子高齢化が課題である。たくさんの人々に訪れてもらうためには、費用が必要である。それは、税金が必要であるということだ。税金にはどんな税があるのかわかるために、調べてみた。すると、国税である消費税、所得税。地方税である住民税、自動車税などがあつた。

私の学校生活では税金に支えられている事を知った。朝、起きて水で顔を洗う時の水には下水道の整備。通学では、バス等で行く際の道路などの整備。授業では、安全に受けるための学校の整備。部活では、合同練習をするための場所等の整備。就寝では、安心、安全のための

消防、警察。私が学校に行って帰るまでの整備などにはそれぞれ税金が支えている事を知った。

また、学校生活以外にも災害時にも支えてくれている事が分かった。その時、私は二年前の九州北部豪雨を思い出した。災害にあつた時、たくさんの方流木や中学校の橋が壊れた時、どうなるのか分からなかったけど、今では流木も撤去されて復旧に向かっている。それは、税金があつたからである。もしも、税金がなければ今頃、流木も放置状態だったと思うと、やっぱり税金は必要な物だと感じる。

そして、いつも払っている消費税も必要なものであると知った。税についての学習をする前は「消費税なんていらぬ。」と思っていた。しかし、消費税がなければ、災害や病気になった

時なにもする事ができない。しかし、消費税があれば、少しでも病気の人を助ける事ができる。災害であれば、災害救助ができ、多くの人を助ける事ができる。私達がいつも払っている税金にはこんな大事な役割があると知った。

ていこうと思う。また、税は暮らしを支え、生活に欠かせないものだと思う。

私は、税の学習を受けて自分が払っている税金には、大事な役割があるので「消費税はいらない。」と思わず、「大切に頑張ってほしい。」と思いながら、払っ



★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

福岡県立 朝倉光陽高等学校

一年 大里 健斗

「税の大切さ」

ぼくは普通に生活をしているときに税を払って物を購入したりしています。現代の日本には様々な税があります。商品などの購入をするときに使っている消費税、大人の人が飲むお酒に対して課税される酒税、日本が海外から輸入した商品に対して、

課税される関税などがあります。この税は普通に生活している中で大切な道路や人が急に倒れてしまった時などに呼ぶ救急車、火事になった時に呼ぶ消防車などがあります。しかし、こういう時に使われるはずの税が時々不正使用されていたりするとき

があります。税金は国や国民のために使われるべきであり、議員などが勝手に使っていないものではないと思います。ぼくは税金を正しく使ってほしいと思っています。

そして、今年の十月から消費税が十パーセントになります。少し、負担する額は増えますが、国や国民のために使ってほしいと思います。そして、税金の悪用は絶対にしてほしくないです。なぜなら、国民の助け合いの気持ちがあつてはならない事だと思えます。当然、国民として、税金を納めることは義務づけられていて、あたり前の事ですが、その税金の中にはたくさんの方の努力の汗がたまっています。

ぼくが今、納めているのは消費税だけです。近い将来、家を買って毎年課税される固定資産税、自動車を買って車検証の所持者に対して自動車税などを支払わなければいけなくなる。そして、一人一人が協力して、税金を払っているのに国の議員が

それを悪用するのはとてもひどいことだと思います。なので、税金は国が国民のために使ってほしいです。しかし、税が無かったら、道路が整備されず、救急車を呼んだり、消防車を呼ぶときにもお金がかかってしまうことになります。そうなることも困るのでやはり税は必要だと思います。ぼくはまだ消費税などの税しか支払ったことがないけど、大人になったら払うことになるのでその時はしっかりと支払っていきたいです。そしてぼくは税金がどういう風に使われているかなどを調べて税のことについてしっかりと考えていきたいらいいなと思えました。



中学生の優秀作文

★甘木税務署長賞

朝倉市立 十文字中学校

三年 橋本 羽音

「日本をつくる税金」

私が一番関心をもったのは医療や年金などの「社会保障」です。国の歳出でトップが社会保障であると知りました。社会保障とは、私達が安心して生活していくために必要な公的サービスのことで、医療、年金、介護、福祉などのしくみのことです。なぜこの社会保障にかかる費用が増えているのかというところには少子高齢化が大きく関係していると思いました。

私の母は医療機関で働いています。病院に来る患者さんの六割から七割が高齢者の方だそうです。私達のような若い世代は医療費を三割負担して七割を国や地方公共団体が負担していることになりました。それに対して高齢者は段階的ではありませんが、二割や一割負担で、残りの八割、九割を国や地方団体が負担しているそうです。この状況を見て

も、社会保障費が膨らんでいることが明らかです。それに加え、少子高齢化が進んでいるという問題があり、増え続ける社会保障費を負担する働き手が減っているという現実があります。なぜ結婚をする人や子どもを産む人が減ってきているのか親に聞いてみたところ、

「子どもを育てるのにはたくさんのお金がかかるからね…。」
と苦笑いで話してくれました。生活していくためには、仕事をして給料をもらっても、所得税や市町村民税など多くの税金が引かれるうえに、

買い物などをすれば消費税や酒税、たばこ税や自動車重量税など、支払わなければならない税もたくさん出てきます。それだけ聞くと税金を払うことに抵抗や不満が出てくるのかもしれませんが、その納められた税金が形を変え、社会保障費や教育

費、また、私達も経験した災害などが起こった際に復興のために使われる公共事業費などに使われると知れば、税金を納める大切さもおのずと分かってきました。

人が生きていくためには税金は必ず必要で私達の生活が税金のもとに成り立っているということも見えてきました。私達はこれから社会に出ていきもっと税を身近に感じる日が来ると思います。自分が国を支えていく一人として、もっと税金のしくみや必要性を理解して働いていきたいと思えます。高齢化はまだまだ進

むはです。人が長生きできることはすばらしいことなので、それにかかる費用も含め、人々が幸せに暮らせるために必要な費用に税金がきちんと使われるよう願っています。



★甘木税務署長賞

朝倉市立 南陵中学校

三年 坂田 敦史

「税別五五〇円から学んだこと」

八月のある日、とあるインテリア店に足を運んだ。「税別五五〇円。」と書かれた枕カバーの価格に疑問に思った。この価格を目にしたとき、僕はとても安いから買おうと心に決めた。商品を手にとった瞬間少し不安に思ったが価格が安いあまりに購入した。代金を支払う際、

五五〇円と思った品が五九四円と表示されていることに気がついた。あわてて千円に取り替えてお金を支払った。家に帰って疑問に感じた僕は、物知りの祖父に聞いた。このとき祖父から返ってきた言葉は、『お前八パーセントの消費税がかかるということも知らなかったのか?』

『じいちゃんがやっている農業にも税金がたたくさんかかっているんだよ。』なるほどそうなのか…。と改めて知った僕は日本人の恥なのではないかとも思った。これももし、消費税のことがあまり分からない外国人の方々に、「日本の消費税の価格表示の(税込)、(税抜)、(税別)って何ですか。」と僕が尋ねられたとする。そして、僕が答えられなかつたら、相手を不安な思いにさせてしまうと思う。僕が大人になるまでにこの三つの言葉をより説得力のある説明ができるようにしっかりと勉強しないとイケないと、とても考えさせられた。

今、僕の住む朝倉では、二〇一七年七月五日九州北部全域を中心とする豪雨災害から二年が経とうとしている。今もなお、朝倉市復興プロジェクトと題して復興へ一歩一歩前進してきているところである。しかし、そんな中でも毎日のように仮設住宅の延長を要望する運動が起こっている。水と緑の里朝倉でなぜこのようなことが起こるのか。不思議に思い調べてみると、意外にも「税金」が深く関わっている。これらの背景にあるのは、「復興支援に多額のお金(税金)がかかり、社会保障の

面への負担が重くなっていること」についてだった。本来ならば社会保障のために使われているものが他のものに使われるのは国民としてもどうしても難しいところである。この問題は、今後どうなっていくかまだ未定だということだが、僕達の納めている税金で一番に復興を優先し、次に社会のため、未来のために使い、充実した日々が毎日続くことを国民は願っている。この僕の意見で少しでもこの問題解決に向けたきっかけになったら良いと思う。

僕が初めて体験した小さな出来事が身近なことにつながっているなんて…。と思うと税金がもたらす多くのことに感謝して生活を豊かに送っていききたい。



★福岡県久留米県税事務所長賞

朝倉市立 十文字中学校
三年 永野由美香

「暮らしと税金」

税金は、くらしやすい街をつくるための社会の会費のようなものだと思います。警察の他にも消防、学校、道路など私たちのくらしになくしてはならない公共サービスや施設は国や地方公共団体が提供し、その費用は日本に住むみんなで「税」という形で負担しているのです。だからこそ私たちは今、安心して生活する事ができています。

もし税金がなかったら日本、私たちの生活はどうなるのでしょうか。まず勉強を教えてくれる人はいません。私たちは勉強ができなくなるためこれから先の日本に大きな影響を及ぼします。そして、教室の窓ガラスが割れたり、雨漏りしても修理を行うこともできません。そうすることで勉強をする場所までもが失われます。二つ目に教科書代や授業料を各自自分たちで負担をするため家計の負担が増え、教育を受けることができないう子がでてくると思います。

今は国民全員が税金を納めているため教科書が無償で配布されています。だから、大切に扱い一生懸命に勉強することが大切だし恩返しに繋がると思います。三つ目は、ゴミ収集車が来ないためゴミが町にあふれ不衛生になります。近年、外国から日本に旅行で来る人は増加しています。一方、日本の街が不衛生だと観光客は減少すると思います。日本の美しい自然を景色もままでをゴミが破壊するのです。そして、ゴミがふれ出すことで相次ぐ場所で火災が起きます。改めて税の大切さについて考え直すことができました。日本は治安が良いと海外の人々からも言われています。それらも税があるからなのです。犯罪が起きて警察が取り締まることが行われるのも税があるからです。そして、少子高齢化が進んでいる日本では、今まで以上に人々が支え合っていくことが必要になってき

ます。私たちがおじいさん、おばあさんになっても介護というように税が使われてきます。だから、「税」というものはなくてはならない存在なのです。私たちはこれから先ずつといういろいろな場所で税に支えられ安全安心な暮らしをしていくことしましょう。

少子高齢化が進むなか、税を払う人がどんどん次々に減っていきます。そして、1人1人が払う税が増え増税されていきます。だからこれからの未来どのようにして税を集めるのかや税の使い道を考えていく

ことがこれからの日本社会にとっても重要なことなのです。



★甘木税務署管内 納税貯蓄組合連合会 会長賞

朝倉市立 南陵中学校
三年 森田 朱莉

「税金が日々の暮らしに」

税金って何だろう。私は小学校高学年の時初めて税金について学びました。学ぶことによって、税金の意味や役割などについて知ることができました。

当時、税金について何も知らなかった私は「税金」と聞くと、嫌なイメージしかありませんでした。な

ぜなら、

「働きはじめると、国にお金を払わなくてはならない。」

と、思っていたからです。

しかし、私の思っていた嫌なイ

メージではありませんでした。税金の役割について知った私は、とてもびっくりしました。

「あ、あれも税金で。あ、これも税金で。」と、私の身近にある物も税金で出来ていることを知りました。例えば、ごみの収集・警察や消防・道路やトンネルなどの建設や整備。他にもたくさんの方が国民が納めたお金でまかなわれています。

もし、税金が無かったら今の暮らしは、どうなってしまうのでしょうか。

このことについて考えたのは、最近です。授業の中で、ある一つのアニメを見ました。そのアニメに描かれた世界は、税金が無くて、今の暮らしとは全く別の世界でした。私はそのアニメを見て、一番に思ったことは、

「税金が無くなると、大変な世の中になるんだなあ。税金ってありがたいなあ。」

ということでした。その時、私は、今働いて税金を納めてくれている人全員に感謝の気持ちを持ちました。この気持ちは、忘れないようにします。

また、二年前私の故郷『朝倉』は豪雨に見舞われ、多くの甚大な被害を受けました。私の家も床上まで水が入ってきました。この大きな災害の時も、税金が多くの地域で使われ、そのことで、故郷『朝倉』はここまで復興できたのだと思います。

それに、今、私の家の近くでは川の幅を広くする工事が行われています。それもまた、税金で行われているのだと思います。本当にありがたいです。

このように、税金というお金はどのようなことに使われているのか、などということについて小学校の頃から考えることが出来て良かったです。税金という大切なお金を納めてくれている人全員への感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいと思っています。それに、将来私が働くようになった場合、国や地域のために、しっかりと税金を納めていこうと思っています。



★甘木税務署管内 納税貯蓄組合連合会 会長賞

朝倉市立 十文字中学校
三年 田中 愛梨

「支えられている私たち」

「キヤー危ない！」

道路が海のようになっている様子とともに叫び声がテレビから流れてきました。これは、一昨年の七月に起きた「九州北部豪雨」のニュースでした。私は家族と避難し、避難所でこのニュースを見ていましたが、言葉で表せない程の恐怖に陥らせるものでした。数日後、家に帰ってみるものの、悲惨な場所ばかり。私の大好きな郷土は復興するのかわからない不安が大きかったです。

そこで、私が気づいたのは、税の大きな存在です。ですが、当時は詳しくは知りませんでした。今回、税の作文を書くにあたり、資料やパソコンで税について調べていく中で、様々なことを知りました。まず、約五十種類の税があることです。その中には、国税・県税・市町村税があり、そこから納める方法、使いみちによってそれぞれ二つに分類されます。次に、税金の納め方についてで

す。税を納めるうえで、二つの制度があります。また、二つの制度の他にも、「申告納税制度」があり、破った場合、実刑判決を受けることもあることを知りました。「このような税制度によって私たちの暮らしは支えられている。」ということ

強く実感しました。九州北部豪雨の復興もこれらによって支えられていることだと思えます。まだまだ復興できていない場所も多いですが、少しずつ復興しています。これらの他にも、私たちが税に助けられている場面が多々あります。例えば、病気になった時やごみ収集の時、実験を行うとき、教科書を使うときなどです。もし税金がなかったら、救急車有料に、医療費が全て自己負担に、ごみ収集が有料に、交番が有料になってしまいます。また、私たち中学生一人に使われている税金は月に約八万円もあることを知り、驚きました。普段、当たり前前の様に送っ

ているこの生活が税金によって成り立っているなんて。

最後に、日本は、「政府開発援助(ODA)」という活動をしていることを知りました。これは、発展途上国にお金を貸してあげるだけでなく、ダムや道路、病院をつくったり、病院で使う薬や注射器などを送ったりする活動です。「未来への投資」とも言われています。

私は今回、税に対する見方が変わりました。今まではなんとなくしか知らなかったから、「本当に税っているの?」とも思ったことがありました。だけど、この税の作文をきっかけに税金は私たちが豊かで安心して暮らすしていくために欠かせないものだと思いました。だからこそ、私も中学生だからと軽く考えるのでは

なく、納められた大切な税金を無駄なく、どのような費用に使うべきか一人の人間として考えていきたいと思いました。税金は悪いものではなく、私たちにとって、かけがえのないものだということを今後、多くの人に伝えていきたいです。



★朝倉市長賞

朝倉市立 南陵中学校
三年 早川 心菜

「税金は暮らしをよりよくする第一歩」

私の身の周りにあるできごとから

税のことについて少し考えることに

した。一つ目は、実際に自分の地域で起

こつた火事のことだ。

それは、私が家でテレビをみていた時に突然放送がなくなったのだ。火事があった場所が家から近かったため、私はスマホを手にとりすぐに家を飛び出した。外に出たら、たくさんの人が現場に向かって足を進めていた。幸い火事があったのは、畑にあった小さな小屋だったため大きなことにはならなかった。

たかさんの人が「大丈夫かな」と不安でいるところをみる一方、私は消防士の方に目を向けた。火事の通報を受けてすぐに消防車が集まってくるのだ。私は、とても驚いた。しかもその日は、とても暑い日だった。消防士の方は、そんな中人を助けるためにすぐに現場に出動していた。

私は、社会科で税についての動画をみたときに、税金をはらっていないかったら消防士も出動しないという場面があり、今回のできごとと一致した。消防士の人の行動のすごさも知れて、また、税の大切さも改めてわかった。

二つ目は、九州北部豪雨だ。私たちの地方も被害にあり、テレビを見るかぎり、とてつもなく大きな被害にあっていることがわかる。

自分が今まで住んでいた場所もなくなり、たかさんの思い出までも一瞬にして消えさった。テレビに映る映像では、避難している人が不安な顔をし、まだみつかっている人いない人の無事を願っている姿を私は見た。そんな中、悲しいことだけではないと私は感じた。被害を受けた人や、避難している人たちのために、各地域の消防団、消防士、レスキュー隊、警察官、救急隊などが頑張っている姿だ。毛布や食料をいろんな人に配り、少しでも不安を無くそうとしているのだ。それも笑顔で一人ひとりが配っていて、私はとても勇気づけられ、憧れるような存在になった。

それだけでなく、道路や、被害が起こった場所をきれいに片づけ、休む間もなく働いておられた。それも税金があるからこそできていることなのだ。知った。税金で支えられたこのような方たちの行動で、いろんな人の不安をすこしでも消すことができている。

この、私の身の周りでおこった出来事から、税金の大切さがとても伝わる。税金は、人の命を助けることもでき、税金の力で人を笑顔にすることができるとだ。

税金を払う立場になると大変だ、きついなと思ってしまうこともあるだろう。しかし、税金を払わなかったり、税金そのものがなくなったりしたら自分が過ごしていくうえで、とても不便になると私は考える。税金は、私たちの暮らしをよりよくする第一歩だ。



★筑前町長賞

筑前町立 夜須中学校
三年 止野摩王斗

「税金は人のため?」

お金は経済の血液と言いますが、廻る事でこの世の中、社会の役に立つ存在です。

税金は、自分の受けたサービスやものの値段に上乗せされて集められたり、働いて得た収入に応じて集められます。その時点では、まだ、

自分の役にも、世の中のためにも全く立っていないように感じてしまいます。

両親は、一生懸命働いても、税をたくさん取られて、手元に残る分が少ない、働き損だという愚痴をよくこぼします。まだ自分は働いてい



ないので、あまりピンと来ません。だけど、小・中学校で使う道具を買うとき、毎年大好きなアルバムを買うとき、友達と一緒に、映画を見たり、昼飯をとるとき、自分たちのような学生でも、消費税を物の値段に上乗せしてお店に払っています。ぼくは、あるときお婆ちゃんから、言われました。「そういう点では自分もあなたも納税者の一人なのよ。」と初めて言われたとき、とて

も不思議な気持ちになりました。納税者というのはずっと、もっと大人の存在かと思っていたからです。その事をきっかけに、税金の仕組みについて、少し興味を持つようになりました。

消費税を例にとってみると、どんな年齢の人も、一定の比率で税金を納めるので、取りそこないはないし、公平ですが、生活するお金に苦しい人や、そもそも収入もない子供にも税金が課されるので、負担が大きいのと思います。両親が働き損だと言っていた、働いた報酬に対しては所得税や住民税が、たくさん稼いだ人からはたくさん、少し稼いだ人からは少しだけ集められるシステムです。収入に対して負担に感じる度合いは一定なのかもしれませんが、働くほどに沢山他の人より税金を取られるので、不公平だなと思うのも納得です。

自分にはどちらの納め方がいいか、まだよく分かりません。

一人ひとりから集められたお金が、地域の単位、国の単位では、莫大な金額になります。そのお金から、個人の単位ではとても用意できないようなみんなでも使う公共の施設の建築費や、道路の整備費、社会的

に弱くて生活が困難な高齢者や、障がいのため、思う存分働けず、収入が不安定な人たちを支援するためのお金、又、元気に働いていても、地震や水害などで仕事や住む家を失ってしまった人達を助けるためのお金として使われています。

自分のお小遣いから一度出て行った、数十円の税金も、みんなのお金

と集計されて、誰かの役に立っているといいな。もしかすると、今使っている通学路が自分のお金から出されたのかもと思うようになりました。税金の流れを想像すると、経済の血液という言葉はぴったりで、自分の手元から出て行ったお金が何らかの形で自分に戻ってきているんだなと実感でき、気持ちよくなります。

★東峰村長賞

東峰村立 東峰中学校
三年 和田隆之介

「税の大切さ」

僕は、社会の授業で税金について知りました。それまでは、何で税金を払わなければならないのかなと思っていました。しかし、税金は、僕たちの教科書さまざま所で使われていることを知りました。教科書はたくさんの方が働いてのお金でできているので大切に使用したいと思います。教科書が無償で使えることに感謝をして使いたいと思います。

二年前、僕たちの故郷、東峰村は記録的豪雨によりたいへんな被害を

受けました。普段から通っている道路が一日にして通れなくなっていました。そして、その道路の工事費も税金から出されていることを知りました。なので税金は、僕たちが暮していく上でとても大切なものだということを災害を受けて感じる事ができました。なので感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思っています。

もし、税金という制度が日本から無くなったら本当に困ると思いま

す。理由は、公共サービスである警察や消防、ゴミ収集が無くなってしまふからです。消防を呼ぶのにお金がかかるのは問題があると思うからです。そして、ゴミ収集にもお金が掛かったらその町の雰囲気も悪くなると思うし、健康的な生活をする事ができないと思います。こういうことを避けるために税金という制度があるのだということを改めて実感しました。税金が使われている場所はこの他にもたくさんあることを知り、本当に税金は大事なんだなと感じました。学校で勉強したり、文化の向上を図ったり、公害の防止など環境を保全したり、犯罪などから私たちを守ったりといったさまざまな使い方をされているのが税金だと思います。それらは個人だけで解決できるわけではないと思います。そこで国や地方公共団体、都道府県や市町村がこれらの仕事を行っていることを知りました。しかし、これらの仕事を行うためには、非常にたくさんのお金がかかることも学びました。そこで、その費用を私たちが「税金」という形で法律に基づき負担しているのです。私たちが社会の一員として生活していくために税金

についてもっともっと知って、支払うことが大切だと思いました。

「税金」とは、みんなのくらしを豊かにするために必要なものなんだなと思いました。そして、税金は、国民のためだけに使われるのではないことも知りました。国際社会の平和を願って、世界の人々のために支援することも大切だなと感じました。世界には、多くの人々が貧困に苦しんでいます。こうした国々の生活環境を改善するためには、国際社会が協力して援助する必要があることも知りました。日本など経済力のある国々は発展途上国との対話を進めながら、経済援助を行い、自立を支援していることが分かりました。「税金」とは、僕たちが生活していく上でとても大切だということを知ることができたのでよかったです。



私たちの笑顔を守るもの、それは税だ。税は、私たちの生活を、笑顔を守りそして支えてくれている。

私たちにとって最も身近な税といえば消費税である。洋服や毎日使う文房具も、買う時八パーセントの消費税を払わなければならない。

私は、小さいころから値段をとても気にする子だった。親から、何か買ってあげようかと言われても、何でも買っていていいよと言われてもいらないと言うような子だった。それはなぜか。その当時、消費税という言葉は知らなくても、書いてある値段より高くなるということを知っていた。だから、親に迷惑をかけてしまふと思うのだと思う。消費税という言葉を知ってから、なぜ払わなければならないのかと不思議だった。でも、消費税について、税とその使い道について調べたときから私の考えは大きく変わった。

「生活と笑顔」

★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

朝倉市立 十文字中学校
三年 秋吉 莉衣

まず、消費税を含む様々な税は支払われているのではないということだ。税金は支払わされているものだと思っっている人も多いと思うが、税金を払うことは自分のためでもあるということ忘れてはいけない。もし税金を払わなくてもいいとなったら、困るのは私たち自身である。ゴミは処理されず、医療費は全額負担、私たち学生も学校へ通えなくなるかもしれない。その他にもたくさん困ることが出てくるだろう。税は私たちの生活を大きく支えてくれている。

そして、税は私たちの笑顔を守ってくれているということだ。税金が笑顔と何の関係があるのか。直接的な関係はないかもしれないが、学校で友達と笑って話せるのも、一緒に勉強できるのも、税のおかげである。私たち中学生は百万円以上の金額を税が負担してくれている。税がなければ学校に行けず、友達と笑い



合うこともできなかつたかもしれない。
 だからこそ、税はこれからも支払い続ける必要があると思う。
 今年の十月から消費税が十パーセントに引き上げられる。今支えられている私たちが、これからは支えていかなければならない。今は、私たちの支払える税は消費税くらいしかないかもしれない。でも、その少しの税金でも誰かの役に立っているということを忘れないようにしたい。
 私が大人になった時、消費税だけでないたくさんの税を支払うことになるだろう。でも、自分だけでないたくさんの人の為にしっかり支払いたいと思う。そして、生活を笑顔を守り、支えてくれている税に感謝しこれから生活していこうと思う。

税の標語

全国間税会総連合会 入選

消費税 8から10へ 新時代

東峰学園 二年 佐々木亜南

消費税 未来のための 貯金箱

十文字中学校 一年 江上 叶華

人々が 生きる社会に 活きる税

夜須中学校 三年 内田 紗央

税金で 笑顔あふれる 街づくり

杷木中学校 三年 野口 美来

平等に 社会に貢献 消費税

比良松中学校 二年 江藤 育人

甘木朝倉間税会が募集した「税の標語」です
 本年度は管内中学校9校から1907点の応募がありました。

租税教育活動を やっています

甘木朝倉地区税務連絡協議会では、構成団体が協力し、税知識の向上及び納税意識の高揚を目的にさまざまな活動をおこなっております。



甘木朝倉地区 税務連絡協議会とは？

★構成団体は？

- ・ 公益社団法人甘木朝倉法人会
- ・ 甘木税務署管内
青色申告会連合会
- ・ 甘木税務署管内
納税貯蓄組合連合会
- ・ 朝倉地区
税務相談所運営協議会
- ・ 甘木朝倉間税会
- ・ 甘木税務署管内酒類業懇話会
- ・ 九州北部税理士会・甘木支部

★何をしようとする団体ですか？

- ・ 一般の方々の税知識や納税道義の向上を目的とした様々な活動を行っています。
- ・ 中学生や高校生の税に関する優秀な作文を表彰する等して、租税教育の支援をおこなっています。